

野菜の需給・価格動向レポート(平成24年7月2日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	5月の価格動向		6月の価格動向		生育及び価格の7月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関 東・近畿ブロック 旬別平均販売価 額	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額				
			下旬	上旬				
葉 茎 菜	キャベツ	84.37	85	67.2	53	47	・入荷見込量：14,271t (101) ・主産地：群馬 (63)、岩手 (12)、茨城 (7)	・群馬産は、台風4号の被害もなく順調な生育であり、今後は徐々に出荷量が増加する見込み。岩手産も、順調な生育で品質もよく平年並みの出荷の見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)
		86.69	93	81.66	71	58	・入荷見込量：3,600t (101) ・主産地：群馬 (41)、長野 (39)、茨城 (11)	
	ねぎ (関東：白ねぎ 関西：青ねぎ)	264.1	330	264.1	295	289	・入荷見込数量：3,995t (100) ・主産地：茨城 (63)、千葉 (14)、埼玉 (6)、輸入 (8)	・茨城産は、作柄が順調で、太めの2L及びLサイズ中心の出荷になり、安定した出荷になっている。今後も平年並みの出荷の見込み。千葉産も、生育が順調で、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		334.73	357	334.73	381	381	・入荷見込数量：210t (99) ・主産地：香川 (24)、徳島 (20)、大阪 (17)、奈良 (12)、三重 (8)、高知 (7)	
	はくさい	67.05	69	67.05	48	41	・入荷見込量：6,065t (101) ・主産地：長野 (85)	・長野産は、台風の被害もなく作柄も良好で順調な生育となっているものの、最近の朝晩の気温の低下の影響により通常サイズの出荷となり、平年並みの出荷となる見込み。 ・平年並みの出荷が見込まれることから、平年を下回って推移している価格は、平年並みに近づく見込み。
		77.96	97	77.96	69	47	・入荷見込量：2,500t (94) ・主産地：長野 (96)	
	ほうれんそう	376.1	407	376.1	366	363	・入荷見込量：910t (100) ・主産地：栃木 (30)、群馬 (25)、岩手 (14)、茨城 (13)	・栃木産は、最近の気温の低下の影響で生育がやや停滞し、少なめの出荷となっているが、今後気温の上昇とともに増加する見込み。群馬産は、順調な出荷となり、今後も平年並みの出荷となる見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		396.89	525	396.89	464	468	・入荷見込量：440t (117) ・主産地：岐阜 (85)、北海道 (11)	
	レタス	156.23	159	120.13	116	112	・入荷見込量：9,423t (99) ・主産地：長野 (86)、群馬 (11)	・長野産は、品質も安定し順調な生育となっているものの、最近の朝晩の気温の低下の影響により通常サイズの出荷となり、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、台風4号の影響と品種の切り替わりの時期により少なめの出荷となっているが、今後徐々に増加する見込み。 ・群馬産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。
		165	171	132.22	125	119	・入荷見込量：2,100t (99) ・主産地：長野 (99)	
果 菜	たまねぎ	71.02	94	71.02	100	103	・入荷見込量：7,977t (91) ・主産地：佐賀 (41)、兵庫 (22)、香川 (15)、輸入 (4)	・佐賀産は、貯蔵ものの出荷となっているが、定植時の降雨等の影響で平年の7割程度の出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。兵庫産及び香川産も、小玉傾向で少なめの出荷となり、今後も平年より少なめの出荷となる見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		71.02	101	71.02	110	113	・入荷見込量：2,700t (82) ・主産地：兵庫 (90)、佐賀 (6)	
	きゅうり	189.84	177	189.84	148	162	・入荷見込量：7,917t (101) ・主産地：福島 (40)、岩手 (13)、秋田 (12)、埼玉 (6)、宮城 (5)	・福島産は、曇天と低温の影響で少なめの出荷となっているが、中旬からは露地ものの出荷が始まり、出荷量が増加する見込み。岩手産は、ハウスものの出荷となっているが、露地ものの出荷も始まり、平年並みの出荷となる見込み。 ・福島産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は上旬までは平年を上回つて推移する見込み。
		177.22	193	177.22	143	158	・入荷見込量：1,850t (101) ・主産地：福島 (32)、北海道 (19)、愛媛 (18)、香川 (6)、宮崎 (6)	
	トマト	209.59	344	209.59	331	296	・入荷見込量：8,170t (102) ・主産地：青森 (20)、栃木 (13)、茨城 (9)、福島 (8)、岩手 (7)、群馬 (7)、千葉 (7)、秋田 (6)	・栃木産は、冬春トマトから夏秋トマトへの作型の切り替わりとなっている。夏秋トマトは玉の肥大も良く、順調な出荷となるものの、全体として平年の出荷量には届かない見込み。青森産は、定植時の寒さによる生育遅れが回復し、出荷開始となっているが、平年並みの出荷量には届かない見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。
		228.53	334	228.53	316	291	・入荷見込量：1,800t (110) ・主産地：北海道 (28)、岐阜 (21)、石川 (8)、愛知 (8)、岡山 (7)、愛媛 (6)	
	なす	297.07	321	297.07	341	356	・入荷見込量：4,674t (99) ・主産地：栃木 (26)、群馬 (25)、茨城 (23)、埼玉 (7)	・栃木産は、台風4号の影響で擦れ果等が発生したが回復傾向で、今後は、順調な出荷となる見込み。群馬産は、台風の影響で少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。 ・群馬産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回つて推移する見込み。
		271.01	317	271.01	316	328	・入荷見込量：1,150t (108) ・主産地：山梨 (23)、徳島 (16)、大阪 (15)、奈良 (11)、京都 (8)、高知 (8)	
	ピーマン	308.36	299	251.5	231	207	・入荷見込量：1,765t (99) ・主産地：茨城 (63)、岩手 (21)	・茨城産は、出荷の終盤を迎えるに減少し、中旬までの出荷となる見込み。岩手産は、春先の低温の影響で2~3日程度の遅れが見られるが、ハウスものが中心の出荷となり、下旬からは露地ものの出荷となる見込み。 ・出荷量の減少が見込まれることから、平年を下回つて推移している価格は、平年並みに近づく見込み。
		283.1	262	266.65	239	224	・入荷見込量：360t (106) ・主産地：高知 (18)、兵庫 (16)、宮崎 (15)、大分 (11)、和歌山 (9)、福島 (8)、愛媛 (6)	
根 菜	だいこん	86.59	90	86.59	74	68	・入荷見込量：8,154t (99) ・主産地：青森 (46)、北海道 (46)	・青森産は、生育遅れからは回復し順調な生育になっているものの、残雪の影響で播種ができなかった場があり、今後はその時期の出荷となるため、少なめの出荷となる見込み。 ・青森産の出荷が少なめと見込まれることから、平年を下回つて推移している価格は、平年並みに近づく見込み。
		94.24	86	94.24	75	76	・入荷見込量：3,000t (94) ・主産地：北海道 (72)、岐阜 (12)、青森 (10)	
	にんじん	156.99	131	133.01	143	141	・入荷見込量：5,924t (96) ・主産地：青森 (50)、千葉 (26)、北海道 (20)、輸入 (3)	・千葉産は、出荷の終盤を迎えるに減少し、中旬までの出荷の見込み。青森産は、播種時期の遅れによる生育遅れが回復傾向となり、順調な生育となっているものの、作面積の減少により、少なめの出荷量となる見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は平年をやや上回つて推移する見込み。
		148.36	112	132.62	121	137	・入荷見込量：1,700t (89) ・主産地：青森 (42)、北海道 (36)、和歌山 (11)、長崎 (7)	

種類	5月の価格動向		6月の価格動向		生育及び価格の7月の見通し		
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額			
		下旬		上旬			
いも	さといも	-	326	344	326	355	・入荷見込量：290t (-) ・主産地：宮崎（39）、鹿児島（38）、輸入（14）、千葉（8） ・宮崎産は、順調な出荷となる見込み。鹿児島産は、離島地域からの出荷となっており、台風の影響で少なめの出荷となっているものの、今後は増加し、順調な出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
	ばれいしょ	-	459	347.9	379	488	・入荷見込量：89t (-) ・主産地：宮崎（43）、鹿児島（30）、愛媛（13）、沖縄（7）、輸入（6） ・茨城産は、順調な出荷の見込み。静岡産は、出荷のピークを迎える見込み。 ・茨城産は、順調な出荷の見込み。静岡産は、出荷開始が平年より10日程度遅れているものの、中旬が出荷のピークとなる見込み。長崎産は、上旬までの出荷の見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
	さといも	131.8	90	131.8	83	74	・入荷見込量：5,861t (102) ・主産地：茨城（29）、静岡（22）、千葉（20）、長崎（12） ・茨城産は、順調な出荷の見込み。静岡産は、出荷のピークを迎える見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。
	ばれいしょ	131.8	95	131.8	84	80	・入荷見込量：3,100t (108) ・主産地：長崎（41）、北海道（18）、静岡（14）、千葉（13） ・茨城産は、順調な出荷の見込み。静岡産は、出荷のピークを迎える見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。

1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)。

2) 別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)。

3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは、前年実績。

5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。

6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、5月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,945gで前年比96%、購入金額は、1,948円で同107%となり、購入量は前年をやや下回り、購入金額はかなり上回った。	生鮮野菜の購入量及び金額 (1人当たりの購入量、金額)				主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移 (単位:円/kg)			
	年	過去5か年平均	平成23年	平成24年				
	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	前年比	金額(円)	前年比
1月	4,263	1,528	4,310	1,573	4,189	97	1,634	104
2月	4,403	1,552	4,267	1,629	4,499	105	1,735	107
3月	4,815	1,721	4,867	1,788	4,584	94	1,851	104
4月	4,779	1,812	4,796	1,789	4,620	96	1,904	106
5月	5,109	1,894	5,171	1,820	4,945	96	1,948	107
6月	5,043	1,872	4,904	1,857	0	0	0	0
7月	4,441	1,696	4,362	1,759	0	0	0	0
8月	4,348	1,719	4,392	1,717	0	0	0	0
9月	4,831	1,804	4,598	1,803	0	0	0	0
10月	5,262	1,862	5,037	1,884	0	0	0	0
11月	5,016	1,636	5,091	1,613	0	0	0	0
12月	5,145	1,834	4,998	1,792	0	0	0	0

資料: 総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

	キャベツ	レタス				
	過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成24年	5か年比(%)
1月	166	230	138	547	690	126
2月	177	247	140	508	691	136
3月	188	238	126	461	692	150
4月	238	262	110	462	513	111
5月	172	196	114	380	409	108
6月	144	117	81	350	266	76
7月	160	0	324	0	0	0
8月	156	0	463	0	0	0
9月	155	0	562	0	0	0
10月	161	0	505	0	0	0
11月	162	0	371	0	0	0
12月	153	0	453	0	0	0

1) 過去5か年は平成19~23年の平均。

2) 平成24年6月の値は、6月中旬の速報値。

資料: 総務省「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

5月の輸入を貿易統計でみると、生鮮野菜は対前年比124%の9万トン、加工野菜は同113%の18万トン、野菜全体では同116%の26万トン、うち中国からの輸入は同111%の12万トンとなつた。	野菜の輸入数量の推移				主な野菜の輸入動向 (単位:トン、%)			
	区分	平成22年	平成23年	平成24年1~5月				
	前年比	前年比	前年同期比	前年同月比				
生鮮野菜	820,687	133	915,091	112	478,563	107	86,950	124
加工野菜	1,677,840	107	1,803,510	107	779,076	105	176,711	113
野菜合計	2,498,527	114	2,718,600	109	1,257,639	106	263,661	116
うち中国産野菜合計	1,284,449	117	1,409,984	110	623,260	107	124,653	111
中国産シェア	51		52		50		47	

資料: ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

資料: 農林水産省「植物防疫統計」。平成24年5月は、速報値である。

4 トピック — キャベツの需給動向 —

